



森ボラ 通信

第82号 2009年3月20日発行
NPO法人北海道森林ボランティア協会

URL <http://www.geocities.jp/hokkaidoforest/>

札幌市中央区南2条西2丁目金市館ビル8F

Tel:241-8155 : Fax:241-8308

E-mail : hshinrinv2002@nifty.com

■ トピックス

◆ 澄川活動地で「ヤマゲラ」観察

2月26日、この日は澄川での活動日でしたが、午前中の伐採作業を終わり、昼上がりでの帰り道、第一木道脇の沢で後ろから来た工藤さんに声を掛けられて前方を見ると折れた木の幹にウグイス色の背をしたハトくらいの大きさの鳥がいた。

前頭部が赤く、気の幹を上ったり下がったり自在に動いている。恐らく餌を探していたのであろう。家に帰って野鳥図鑑で調べた所、「ヤマゲラ」で額の赤から雄の成鳥であろう。ヤマゲラは大陸の温帯から亜寒帯にかけて広く分布しており、周年見ることが出来ると書かれている。

図鑑には2002年2月に西岡で撮影されたヤマゲラの写真が掲載されていた。この時期このエリアで見かけることができる鳥のようである。類似種としてアオゲラがいるが、これは本州以南に分布し日本の特産種で雄は額から後頭部まで赤く、雌も後頭部にのみ赤色部があるとのことで。生態的にはやはり北海道に生息している動物や鳥は大陸（沿海州）との繋がりが大きく、本州以南の日本が特殊な生態系となっている。（記、荻田）



◆ 活動報告・3月12日(木)樹液採取には少し早すぎ？

活動地にて樹液採取を試みました。イタヤカエデとシラカンバ。

イタヤカエデからは200mlほどの樹液が採取できましたが、シラカンバは少し時期が早いようです。今年は暖冬で積雪も少なく、春の目覚めが早まるのでは？との観測でしたが、やはり早いようです。来週の活動日から本格的な樹液採取に取りかかります。寺沢先生(北大名誉教授)の指導で保存方法が確立していますので、大いに利用して森の恵みを堪能してください。（記、事務局）



◆ 谷筋を歩かないようにしましょう。

ホームグラウンド

私たち森ボラの活動地はいろいろです。一回だけしか行かない植栽地や、数回で活動目的が終了したり、「澄川の森」のようにホームグラウンド的に総合的に管理保全を続ける場合があります。長く続けるといろいろなものが見えてきます。

6年前、最初に4つの候補地からこの地が選ばれたのは木が細く手作業がしやすい、近い、なだらかで女性会員にも適するなど自分達サイドの理由でした。そして会員の評価もゴミだらけ、倒木だらけ、山菜の少ない瘠せた2次林、植栽されたカラマツも殆んど残っていない放置林でした。巨木の森を目指し“2本仕立て整理伐”を6年続けてきて今一巡しようとしており明るい森になりつつあると自負しています。

見えてきたもの

それ以上に自分たちの森を見る目が変わってきました。多様な樹種やミズバショウ、ホタルの群舞とそのヤゴ、カワニナ、隣のゴルフ場から引っ越したカブトムシ、木屑の山に大量発生 of ミヤマクワガタ、トンボ、ヘビがら、ジムグリヘビ、タヌキの糞塚、リス、キツネの穴、鹿の足跡や糞、未確認ですが日本ザリガニなど日々発見があります。また困ったことにエゾヤチネズミに植栽木のエゾヤマザクラが齧られたりアライグマの足跡も発見されて戸惑っています。

植物にしても外来種ニセアカシアの退治は私たちの活動の一つで萌芽切りを続けていますがそのニセアカシアが倒伏し明るくなった跡地にはクズが繁茂して新たな対策を必要としています。

守りたい動植物たち

鳥の襲撃で死んだジムグリ



木道とミズバショウ



ホウの葉に群がるカワニナ



ホウの木に休むトンボ



谷筋は歩かない

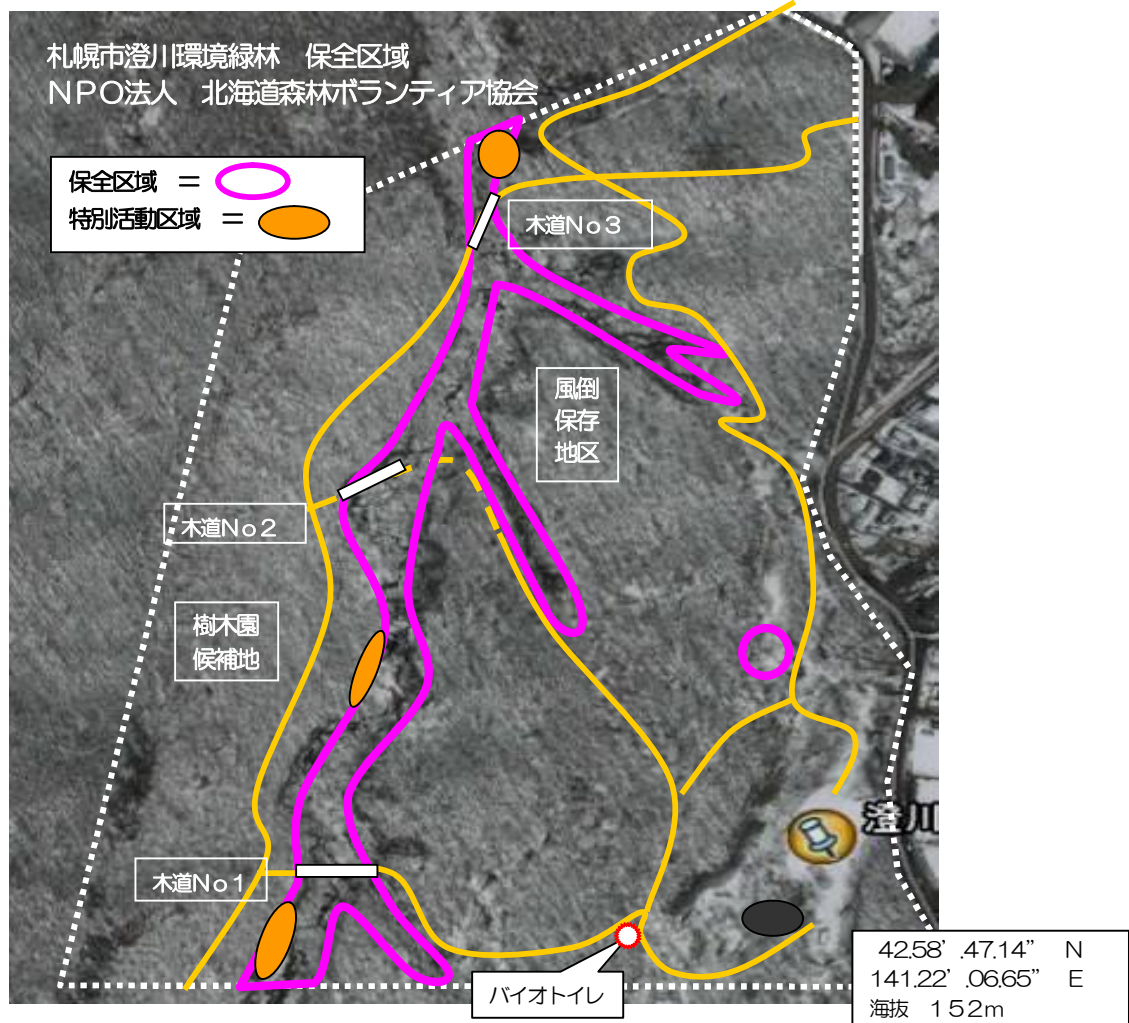
一般的な森林保全の原則とは別に北海道森林ボランティア協会の自主規制としてこのような動植物を踏みつけけないために下の図の保全区域の「谷筋を歩かない」ようにしましょう。ここは公共の札幌市環境緑林ですから当然一般市民も入林されますが「規制ではないが谷筋に入らない」よう薦めましょう。



タヌキの糞塚



樹液とミヤマクワガタ



木道を渡ろう

この環境緑林の中央部を精進川左股が流れており谷筋に入らないように3本の木道を設置しました。その上からはミズバショウに隠れてヤゴやカワニナも見られます。ここは森林の分類からは共生林になり、今年も多く小学生が森林学習に来て私たちが台風で倒れた木を板に挽いて作った木道渡りを楽しむことでしょう。私たち会員は炭焼き用の木などを担いでバランスをとりながら渡るのを楽しんでいます。

特別活動区域の設定

森林ボランティア活動の中にはどうしても水と湿気と木陰の欲しいホダ場作業があります。このためこの保全地区の中に特別活動区域を設定しました。しかしこの場所で活動するときにはこれらの動植物を踏みつけさないよう細心の注意をしましょう。(記、酒井)

■ 今月の幹事会

出席者：市山・荻田・酒井・佐野・杉本・高野・津金・西野・棟方・山中・和田
傍聴：佐坂

連絡事項

① 総会日程の変更

4月27日(月)⇒4月28日(火)16:00(札幌市リンケージプラザ2F)に変更します。

総会案内を葉書にて発信しますのでご確認・ご出席をお願いします。

今回の総会では、会費の値上げとそれに伴う定款の一部改定を予定しています。12月例会から3回に渡り内容の説明をしてきました、ご理解、ご協力のほどお願いいたします。

② 3月セミナーは「救命講習会」です。現在19名の受講希望となっています。事前登録が必要ですので未連絡者はお早めに事務局まで申し込みください。

③ 4月からリンゴ園支援活動が開始されます、昨年同様多数の支援をお願いいたします。

④ 4月活動日程が予告日程からいくつか変更になっています、もう一度確認して参加申込みをお願いします。

尚、「コンサ百年の森」根踏み・補植作業は5月8日(金)に変更になりました。入口近くの植栽地は土留めと補植を実施します。チェーンソーでの作業を予定しています。

⑤ ホームページで使用していたカウンターは工事中となっていて表示されていません。会津大学からのサービスを使用していましたが、サービスを終了する事になりました。別途サービス先を検討しています。ご不便をおかけしますが今しばらく時間をいただきます。

■ お知らせ

◆ 総会日程

○とき：平成21年4月28日(火)16:00～

○ところ：札幌市リンケージプラザ2F(第3研修室)

○議題：1. 平成20年度(2008年度)事業・会計・監査、報告の件
2. 平成21年度(2009年度)事業・会計、計画承認の件
3. 会費値上げについて・一部定款改定、承認の件

◆ 高野さんが個展開催

○とき：平成21年3月27日～4月2日

○ところ：NHK札幌放送局ギャラリー(中央区大通西1)



■ 活動履歴

| 活動日 | 行 事 | 参加人数 | 活動内容 |
|----------|------|------|--------------------|
| 3月17日(火) | 澄川 | 18名 | 除伐・玉木搬送 |
| 3月16日(月) | 木工 | 11名 | 自由製作 |
| 3月12日(木) | 澄川 | 15名 | 玉木搬送・樹液採取 |
| 3月9日(月) | 幹事会 | 12名 | 定例 |
| 3月5日(木) | 澄川 | 14名 | 除伐・玉木搬送 |
| 2月28日(土) | セミナー | 27名 | トレッキング・HBC北海道学BB、他 |
| 2月26日(木) | 澄川 | 16名 | 除伐・玉木搬送 |
| 2月23日(月) | 木工 | 9名 | 自由製作 |
| 2月19日(木) | 澄川 | 17名 | 除伐 |

■ ひとこま

◆ 2月のセミナーから



矢澤さんが「ネパール・ヒマラヤトレッキングレポート」を紹介されました。

トレッキングに9日間も費やされたのに、帰路、バンコク空港のデモで3日間も足止めされた事、空港内での野宿が1番つらかった事など面白いお話でした。

また、HBCTVから提供のほっかいどう学BB「森と人がつくる未来—持続可能な社会をめざし—」では森ボラ研修で訪問した下川町の取り組みやウヨロ環境トラスト活動がきれいにまとめられていて改めて参考になりました。

パート1からパート4の4篇にまとめられていて持続可能な森林の未来を分かり易く解説されていました。(記、事務局)

